



日時	2023年12月22日 10:00				試合形式	90分
会場	ホセ・マリア・ミネージャ・スタジアム				ピッチ状態	天然芝
日本代表			0	0 前半 1 0 後半 1	2	アルゼンチン代表
警告・退場	後半	前半	チーム合計		前半	後半
	1	3	4	シュート	18	10 8
	4	10	14	GK	14	7 7
	2	0	2	CK	10	6 4
	4	6	10	直接FK	7	4 3
	1	1	2	間接FK	2	1 1
	1	1	2	(オフサイド)	2	1 1
	0	0	0	PK	1	0 1

【日本】

【アルゼンチン】



【得点経過】

35分[アルゼンチン]No.4のクロスボールをNo.9がヘディングシュート。

46分[アルゼンチン]No.10のクロスボールをNo.7が1タッチシュート。

【交代】

4 5分[日本]	IN NO. 11 梅村	⇔	OUT NO. 9 奥田
	IN NO. 17 今井	⇔	OUT NO. 18 松野
6 5分[日本]	IN NO. 10 佐藤	⇔	OUT NO. 15 犬塚
6 7分[アルゼンチン]	IN NO. 16	⇔	OUT NO. 10
	IN NO. 17	⇔	OUT NO. 8
	IN NO. 15	⇔	OUT NO. 11
7 0分[アルゼンチン]	IN NO. 14	⇔	OUT NO. 4
7 8分[アルゼンチン]	IN NO. 8	⇔	OUT NO. 1
	IN NO. 18	⇔	OUT NO. 9
8 1分[日本]	IN NO. 13 福原	⇔	OUT NO. 7 武田
8 6分[日本]	IN NO. 6 吉川	⇔	OUT NO. 3 清水
8 9分[日本]	IN NO. 1 徳村	⇔	OUT NO. 12 荻野

ゲームコンセプト

全員攻撃・全員守備

攻撃コンセプト

ARGENTINA の状況に応じて、

- ・相手の背後を狙う＋サイドからの攻撃 DF
→サイド攻撃(数的優位) ※ニア・プルバック・ファー
- ・ビルドアップ
→1タッチプレー＋サポート＋素早い切り替え

守備コンセプト

- ・1 vs 1 で絶対に負けない
(良いポジション/素早いアプローチ/インターセプト/粘り強い対応)
- ・①前線から積極的な守備、②中盤からの守備(※最終ラインの設定)
(1stDF のアプローチ/予測/距離感/背後への飛び出しの予測・対応)
- ・ゴール前の守備
(寄せる/正面に立つ/距離感/簡単に飛び込まない)

ゲーム内容

第2戦は、前線からの積極的な守備と中盤からの守備でボール奪取を狙い、アルゼンチン DF の背後へのアクションとサイド攻撃でゴールを目指した。アルゼンチンは、GK のみ選手変更があり、強力な2トップを起点にゴールを目指してきた。日本は、アルゼンチンのプレースピードにも慣れ、ボールの奪いどころも共有されてきていた。アルゼンチンは、日本の背後のスペースを狙うことで、サイド攻撃から CK や高い位置からのスローインを獲得し、ゴール前に迫ってきた。日本は35分にチャンスを掴む。⑨奥田がゴール前の⑭下鶴にアーリーク

ロスを供給し、フリーでボレーシュートを試みるもボールを捉えきれなかった。得点の兆しが見えてきた中、アルゼンチンに隙を突かれ、深い位置からのクロスボールから No.9 にヘディングゴールを決められてしまう。

0-1 で迎えた後半、開始早々にクロスボールの対応を見誤り、失点を喫してしまった。もう失点が許されない中、前線から中盤と連動し、積極的にボールを奪いに行き、良い守備は見受けられるようになっていた。シュートこそ少なかったが最後まで諦めずにゴールに迫るもタイムアウトとなり、0-2 の敗戦となった。